回覧

No.663

交通ひろしま

新春号 2025

HIROSHIMA TRAFFIC SAFETY

編集・発行　公益財団法人　広島県交通安全協会　広島県交通安全活動推進センター
〒731-5108 広島市佐伯区石内南三丁目1-1広島県運転免許センター5F
TEL(082)941-7700　FAX(082)941-7701
URL https://www.hiroankyo.or.jp/

あけまして おめでとうございます

年頭のごあいさつ
「悲惨な交通事故のゼロを目指して」

(公財)広島県交通安全協会
会長 小丸　成洋

明けましておめでとうございます。

県民の皆様には、明るく希望に満ちた新春をお迎えのことと謹んでお慶び申しあげます。また、皆様には平素より交通安全協会の活動に対しまして、深いご理解とご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、昨年の広島県の交通死亡事故は、高齢者の死者数が全体の半数以上を占めるほか、横断歩道上の死亡・重傷事故が多数発生するなど、厳しい結果となりました。

当協会といたしましては、昨年の状況を踏まえ、SNS等の媒体を活用した情報発信、各種キャンペーンや交通安全教室など、創意工夫を凝らした各種交通安全活動に取り組み、交通事故を抑止してまいる所存です。

今後とも、広島県や県警察をはじめ関係機関・各種団体、地域ボランティアの皆様と連携しながら「悲惨な交通事故のゼロ」を目指してまいりますので、より一層のご支援とご協力をお願い申しあげます。

結びに、皆様のご多幸とご健勝を祈念申しあげ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のごあいさつ
「交通事故のない日本一安全で安心な広島県」の実現を目指して

広島県知事 湯﨑　英彦

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、令和7年の輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、平素から本県の交通安全対策の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

令和7年度は、「第11次広島県交通安全計画」が最終年度を迎えます。

「交通事故のない日本一安全で安心な広島県」の実現に向けて、計画に掲げる交通事故死者数を年間60人以下（うち高齢者33人以下）、交通事故重傷者数を年間700人以下とする目標の達成を目指し、より一層、高齢者や子供などの交通弱者対策や、地域の交通実態に即した効果的な道路交通安全対策に取り組んでまいります。

引き続き、貴協会をはじめとする関係機関・団体の皆様には、御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

新年の門出に当たり、貴協会のますますの御発展と、皆様の御健勝、御多幸を祈念して、年頭のごあいさつといたします。

年頭のごあいさつ

交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を目指して

広島県警察本部長 則包　卓嗣

新年明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

さて、近年、交通事故発生件数は減少傾向にあり、このことは、貴協会をはじめとする県民の皆様一人一人の交通事故防止に対する積極的な取組の成果と言えます。

しかしながら、今なお歩行者をはじめとする多くの尊い命が交通事故によって失われていることから、悲惨な交通事故をさらに減少させるための継続的な取組が必要です。

県警察といたしましては、交通安全教育、交通環境の整備及び交通指導取締りなどの諸対策を着実に推進し、交通事故のない安全で快適な交通社会の実現を目指してまいりますので、引き続き交通安全協会の皆様をはじめとした地域の皆様に御協力いただきますようお願い申し上げます。

結びに、貴協会の益々の御発展と皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。

あけましておめでとうございます

各地区　交通安全協会会長

交通事故のない安全・安心な地域社会の実現を目指します。
本年も県民の皆様のご協力をお願いいたします。

広島中央交通安全協会 久保田　耕一	山県交通安全協会 岡野　泰宣	福山北交通安全協会 佐藤　卓己
広島東交通安全協会 田中　秀和	呉交通安全協会 三宅　清嗣	尾道交通安全協会 亀田　茂登
広島西交通安全協会 橋川　徹	音戸倉橋交通安全協会 榎　勝則	因島交通安全協会 伊藤　義美
広島南交通安全協会 浮田　照義	広交通安全協会 土井　龍裕	三原交通安全協会 深山　隆一
安佐南交通安全協会 中冨　祐二	江田島市交通安全協会 清水　義昭	府中交通安全協会 宮口　英昭
安佐北交通安全協会 上田　秀信	東広島交通安全協会 新川　義貴	三次交通安全協会 藤定　守
佐伯交通安全協会 髙田　稔	竹原地区交通安全協会 渡橋　博	庄原地区交通安全協会 佐々木　満
安芸地区交通安全協会 大成　景三	大崎上島交通安全協会 信谷　裕	東城交通安全協会 桐岡　勲雄
廿日市交通安全協会 野村　尊敬	福山東交通安全協会 小丸　成洋	安芸高田市交通安全協会 湯浅　文夫
大竹交通安全協会 村井　正雄	福山西交通安全協会 眞田　奈津基	世羅郡交通安全協会 井口　清紀

交通安全情報プラザ

★「第21回高齢者交通安全自転車大会」の開催

10月26日(土)、広島市中小企業会館において開催され、県内の地区交通安全協会から、16チーム48名の65歳以上の方が参加しました。団体の部では、府中交通安全協会チームが優勝し、後日、府中警察署署長室において、優勝の報告が行われました。そのほかの大会結果は、次のとおりです。

大会の様子

優勝報告の様子

順位	チーム	協会
優　勝	府中チーム	府　中
準優勝	福山北Aチーム	福山北
優秀賞	福山東引野チーム	福山東
優秀賞	広島東Bチーム	広島東
優秀賞	広島東Aチーム	広島東

★「自転車安全教育指導員講習会」の実施

11月16日(土)、広島県東部運転免許センター会場において、13人の方が受講されました。自転車整備の重要性や自転車保険等の必要性などについての講義後、実際に自転車を使用した技能指導を受け、安全運転の重要性を学びました。

点検・整備の重要性について学ぶ様子

★横断旗の寄贈

11月20日(水)、こくみん共済coop広島推進本部から、交通事故防止に役立ててもらいたいと横断旗3,000本を寄贈していただきました。この横断旗は、県内の各地区交通安全協会に分配し、通学路や横断歩道などで活用して、歩行者の交通事故防止活動に努めてまいります。

寄贈された横断旗

★「地域交通安全活動推進委員連絡協議会連合会会議」及び「地域交通安全活動推進委員研修会」の開催

11月22日(金)、広島県運転免許センター5階会議室において開催されました。県内各地区推進委員49名が出席され、広島県警察による会議に続いて、研修会では、広島県交通安全活動推進センター広島西支部・広島西交通安全協会 奥村豊支所長による、「交通事故を起こさないために意識すること」についての講義等を受講されました。

会議の様子

研修会の様子

★第73回交通安全ポスター・作文コンクール特別賞のご紹介

ポスターの部 学校・学年・氏名		賞　名	作文の部 学校・学年・氏名	
①福山市立松永小学校1年	佐藤 実侑さん	広島県知事賞	竹原市立竹原西小学校4年	猪岡 澪さん
②福山暁の星小学校3年	奥野 新大さん	広島県警察本部長賞	庄原市立西城小学校5年	新田 真矢さん
③福山市立駅家南中学校2年	三島 唯愛さん	広島県警察本部長賞	呉市立吉浦中学校2年	柳谷 徳香さん
④福山市立津之郷小学校4年	栗村 梛々美さん	広島県教育委員会賞	府中町立府中北小学校6年	上田 千帆さん
⑤福山市立松永中学校1年	杉原 有希乃さん	広島県教育委員会賞	広島市立五日市中学校1年	米廣 朋留さん

※特別賞の受賞作品は、当協会のホームページでご覧いただけます。

①広島県知事賞

②広島県警察本部長賞

③広島県警察本部長賞

④広島県教育委員会賞

⑤広島県教育委員会賞

広島県知事賞

笑顔を守る交通ルール

竹原市立竹原西小学校　四年　猪岡　澪さん

「奈良のジジが事故にあったみたい。」
と、学校から帰って来た私に、お母さんが教えてくれました。私は突然の事でビックリして、すぐに
「えっ？なんで？」
と聞き返したら、お母さんが詳しく教えてくれました。
右折レーンで信号待ちのために停止していたジジの車に、直進レーンにいた大型トラックが後方からつっこんできて、そのしょうげきで反対車線に追いやられて、反対車線で停止していた車にしょうとつしたとの事でした。
その後、救急車で病院に運ばれました。色々な検査をした結果、けいずいそんしょうで四番目のけいついの神経が細くなったのが原因で、むねから下がまひしているのが判明しました。ジジはそのまま三週間検査入院した後にリハビリセンターに転院して六カ月リハビリをしました。
リハビリセンターではまず足や手を動かすリハビリから始まり、その次はおはしサポーターを持つ練習、物につかまって立つ練習をしました。それが出来る様になると、おはしサポーターを使ってあずきを右から左へ移動させる練習や、歩行器・杖を使って歩く練習になりました。やっと電話が出来るまでに回復した時、
「ジジ、子供に逆戻りや。」
と、笑いながら言っていました。声を聞くといつも笑顔のジジの顔が浮かび少し安心しました。
感覚が無いので、動かしてる部分に集中しないとお箸を持つことも、歩くことも上手く出来ません。自分の体を支えるために、十キロもやせました。自分の思い通りにならない体を嫌になる時や、毎日つらいリハビリをしても全然良くならなくて、悔しい思いをする時も沢山あったけれど、それでも十二月にあるお父さんの妹の結婚式でバージンロードを一緒に歩きたい夢があったからあきらめずにたくさんの努力を毎日毎日続けました。
努力を続けた結果、退院した時には杖を持って一人で歩いたり、一人でお風呂に入れる様になっていて、リハビリの先生もすごい回復力だとおどろいていました。
そして、ねん願だったバージンロードも無事に歩けました。杖を持っていたけど、少しずつだけど、一歩ずつしっかりと自分の足で歩いてるジジを見てとても感動しました。
いっしゅんの交通事故でジジの生活は変わってしまい、たく山の事をあきらめなければならなくなりました。仕事も出来なくなり、お米も作れなくなり、あゆ釣りも出来ず、大好きなドライブで私たちに会いに来れなくなりました。
ちゃんと右折レーンに入って、赤信号で停止して、シートベルトもして、きちんと交通ルールを守っていたにも関わらず、けいたい電話を触っていたわき見運転のトラックのせいで人生が変わってしまいました。
「起きてしまったものは、仕方がない。」
と、ジジは自分に言い聞かせるかの様に私達に言ってきました。
今回のジジの事故で感じたことは、被害者のジジだけじゃなくジジの周りの家族の生活も変わってしまったという事、ジジと同じくらい悲しくて悔しい思いをする家族がいるという事です。身近で見てきた私は、交通ルールを守るという事は自分の命を守るためだけではなく、家族の笑顔を守るため、そして悲しい思いをする人を増やさないためだと思います。
四年生になり保護者がいなくても公道で自転車を乗れるようになりました。必ずヘルメットを被ります。スピードも出しすぎません。運転に集中して乗っています。自分自身と家族の笑顔を守るために、自分自身が交通ルールをしっかり守りたいと思います。

令和7年 広島県交通安全年間スローガン

『てをあげて　くるまにおしらせ　ぼくはここ』